

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基本技術IV(ヘルスアセスメント)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2階3階実習室
担 当 教 員	柏原 弘子	実務経験と その関連資格	看護師 病院,施設等で19年勤務 教育機関で勤務			
《科目目標》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各臓器についてのフィジカルアセスメントの方法を知り、実践できる</li> <li>② 事例を通してフィジカルアセスメントが実践できる</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】課題15%、授業態度10%、計画立案5%、ロールプレイ発表5%、理解度テスト20%、終講試験45%の総合評価とする。						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I メディカ出版 1巻 解剖生理 7巻 呼吸機能障害/循環機能障害 8巻 栄養代謝機能障害 10巻 脳・神経機能障害 11巻 運動機能障害 EX1巻 呼吸器 EX2巻 循環器 EX3巻 消化器 EX5巻 脳・神経 EX7巻 運動器						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事前・事後学習を行い授業に出席する。事前課題は必須。</li> <li>② 指示している動画を視聴して出席する</li> <li>③ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメントの基本技術を習得するよう練習する。</li> </ul>						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 提出物は、クラス単位で回収し指定された時間を守り提出する</li> <li>② グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う</li> <li>③ ロールプレイ発表は、全員で役割を担い発表する</li> <li>④ 言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む</li> </ul>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際	教科書	解剖Tシャツ作成 白Tシャツ、鉛筆、黒油性マジック	
		各コマにおける授業予定	鎖骨、肋骨、脊柱の解剖を理解する。		解剖を予習	
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際	教科書	解剖Tシャツ作成 白Tシャツ、鉛筆、黒油性マジック	
		各コマにおける授業予定	鎖骨、肋骨、脊柱の解剖を理解する。		解剖を予習	
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	呼吸器系の解剖生理を予習 解剖Tシャツ着用 課題	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の構造と機能が説明できる。 呼吸器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	循環器系の解剖生理を予習 解剖Tシャツ着用 課題	
		各コマにおける授業予定	循環器系の構造と機能が説明できる。 循環器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	循環器系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器・血圧計
		各コマにおける授業予定	循環器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	消化器系の解剖生理を予習  課題
		各コマにおける授業予定	消化器系の構造と機能が説明できる。 消化器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	消化器系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器
		各コマにおける授業予定	消化器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントの視点を考える	教科書 小テスト	中枢神経、骨・筋系の解剖生理を予習  課題
		各コマにおける授業予定	中枢神経、骨・筋系の構造と機能が説明できる。 中枢神経、骨・筋系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントが実施できる	教科書	課題 ジャージ・ナースシューズ
		各コマにおける授業予定	中枢神経、骨・筋系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の立案(O-P、T-P、E-P)  各自事前にプレゼンの練習を実施
		各コマにおける授業予定	事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の立案(O-P、T-P、E-P)  各自事前にプレゼンの練習を実施
		各コマにおける授業予定	事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の実施(O-P、T-P、E-P)  白衣・ナースシューズ
		各コマにおける授業予定	事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考え実践。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ	教科書	援助計画の実施(O-P、T-P、E-P) 白衣・ナースシューズ  第1回～14回の授業の振り返り
		各コマにおける授業予定	事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考え実践。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		